



いきいき弥小っ子



弥彦小学校ブログ 日々更新中！ <http://yahikosyou.blog-niigata.net> 文責 校長 木嶋 達平
ホームページには、カラー版の学校便りを掲載しています。 <http://www.mercury.jstar.ne.jp/~yhksh>

■行事の主役は、子どもたち！ ～スマイルでカラフルな運動会でした～



運動会が終わり、あっという間に2週間が経ちました。元気よく「よっちょれ」を踊る姿、地域の方と一緒に走る姿、1年生の玉入れダンスに合わせて自然発生的に1年生と一緒に応援席で踊る姿、勝っても負けても相手を称える姿、ゴールして喜ぶ姿など、子どもたちが、運動会そのものを楽しんでいる様子が伝わってくる素敵な運動会になりました。

弥彦村ではYYP(弥彦ユースプランナー)を募集し、若者の意見を地域作りに生かそうとする試みが昨年より行われています。弥彦小学校でも、昨年以上に、子どもたちの意見を取り入れ、子どもたち主体の行事や学習活動を進めていきます。

運動会も時代と共に変わる時期に来ていると思います。運動会終了後、ある子どもから、「校長先生、なんで赤白に分かれて戦わなければいけないの？」と聞かれました。私が、「どうして、そう思ったの？」と問い返すと「勝ち負けでなく楽しめればいいんだよ」との返事でした。また、学校によっては、スポーツフェスティバルにしているところもあります。形はどうかあれ、子どもたちが何かに一生涯懸命取り組む姿は、大人たちに元気を与えてくれることは確かです。

約100年前の1925(大正14)年に刊行された『新しき施設の小学校運動会』(真行寺朗生/著)では、すでに運動会の過熱ぶりが問題視されており、運動会の種目は「日常から教えられていることの一部を発表する」もので十分であると指摘されています。

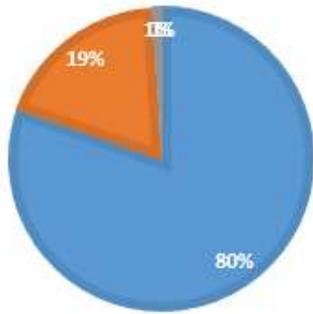
私の経験上、運動会后、学校が落ち着かなくなることが多くありました。その反省から、運動会をとおして学級・学校全体が温かい雰囲気(カラフルスマイル)になってほしいと教職員や子どもたちに話をしてきました。今、学校はとても良い雰囲気です！

左の写真は、昭和54年、私が4年生当時の写真です。まさに昭和ですね。学校の伝統的な行事は、教職員・保護者・地域の皆様もご経験があるだけに様々な思いがあると思いますが、これからも主人公である子どもたちを中心にあるべき姿を検討していきます。

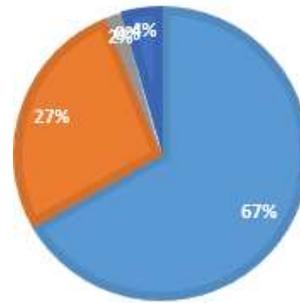
最後になりましたが、当校の運動会では、スクールサポーター・PTA・保護者・地域の皆様など、大変多くの皆様のご協力のおかげで開催できていることに改めて感謝申し上げます。



■全校児童アンケート結果



①運動会は楽しい
 ● すごく楽しい 80%
 ● まあ楽しい 19%
 ● あまり楽しくない 1%
 ● 全く楽しくない 0%
 肯定的評価 99%

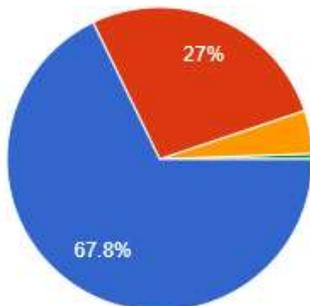


①学校はカラフルになったか
 ● とてもなった 66.8%
 ● まあなった 27%
 ● あまりならない 1.9%
 ● 全くならない 0%
 ● 変わらない 4.3%
 肯定的評価 93.8%

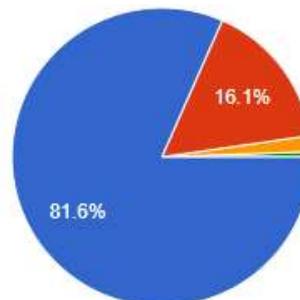
ほぼ全ての子どもたちにとって運動会が楽しく、学校がカラフル（友達を応援したり、友達の良さを認め合ったりする）になったと感じていることが分かりました。また、運動会をとおして、79.8%の子どもたちが、前より運動が好きになったと答えています。

■保護者アンケート結果紹介 回答率（72.5%）

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。実施時期に関しては、94.8%の方が肯定的意見でした。また、8時からの開催も良かったとの意見が多かったです。私は、1時間毎に熱中症測定器で気温等を測りましたが、午前11時に最高気温が30.1℃となりました。



①競技内容について
 ● 良い
 ● まあ良い
 ● あまり良くない
 肯定的評価 94.8%



②運動会に取り組む姿
 ● 楽しんでいて
 ● まあ楽しんでいて
 ● あまり楽しんでなかった
 ● 楽しんでいなかった
 肯定的評価 97.7%

【自由記述の一部紹介】

貴重なご意見ありがとうございました。励ましのコメントに教職員一同、やる気が出ます。

- ・やらされている運動会ではないのが伝わってきて、みんなが楽しそうな笑顔で良かったです。
- ・先生方、地域サポーターの方、運営がスムーズでした。
- ・児童への熱中症に対するご配慮もありがたいです。ただ一部の保護者について、何度も注意されているにもかかわらず、児童応援席の後ろで観覧していたことは残念だと思います。
- ・勝ち負けも大事だけどみんなが頑張っていて良かったと思います。
- ・毎年、ほぼ変化がない競技であまり見応えがないです。もう少し競技を見直した方がいいと思いました。
- ・スタンド席で隣との境界が分からず、前後の交互になっていませんでした。
- ・怪我をした子を見つけたら助けを求め、ケガの子をフォローする姿や水筒を忘れた子に、お友達同士で「1年生だよな？持っていってあげよう」と置いたままにしない姿に感心しました。
- ・子どもからの話でもリレーでも、追い越されても誰かの事をせめたりせず、頑張っ走り切ったことを認め合い、楽しんで競技できたと言っていました。
- ・低学年のお子さんだと思いますが、目が合って「こんにちは」と挨拶してくれて気持ち良かったです。
- ・6年生の借り人の時に借りられて一緒に走ったのですが、その時の子がとても丁寧にお話し、何度もありがとうございました、助かりましたと言ってくれて素晴らしいなと思いました。

*1年生の「走の運動遊び」は、学習指導要領で30～40mと決められています。この時期の児童の実態を考慮し、体育授業の指導内で全員が気持ち良くゴールまで走られる距離として30mにしました。ご理解ください。

